

平成26年度 長崎市提案型協働事業 1次審査結果一覧

種別		行政提案型	市民提案型			
団体名		ながさきダンカーズ倶楽部	NPO法人長崎ウェルネススポーツ研究センター	NPO法人心澄	体験学習クラブさ〜くる	
事業名		長く元気で！応援事業	アクティブ世代のスマートスポーツライフ支援事業	ひきこもり本人と会えた時のためのハンドブックと講座事業	わかる・いきる・つながる 学習サポート事業	
事業費総額（円）		1,980,000	1,000,000	980,370	1,024,000	
審査項目		配点	各項目における平均点			
①	目的の明確性	5	4.4	4.0	3.3	3.5
②	課題の把握	5	4.0	4.0	4.0	3.7
③	協働の必要性	10	7.6	7.6	7.0	6.0
④	協働による相乗効果	10	7.6	8.0	6.3	6.0
⑤	協働の役割分担	5	3.4	4.0	3.2	3.0
⑥	事業の企画力及び広域性、他地域への波及効果	10	7.2	8.0	5.3	6.0
⑦	事業の実施能力	15	11.4	11.4	10.5	10.5
⑧	事業の計画性	15	11.4	11.4	7.0	10.0
⑨	事業の継続性、発展性	15	10.8	10.8	8.0	7.5
⑩	事業への熱意	10	9.2	8.8	7.3	6.3
合計点（点）		100	77.0	78.0	61.9	62.5
得点率（％）		100	77.0	78.0	61.9	62.5
審査結果		採択	採択	不採択	不採択	
審査会コメント		<p>行政の提案に沿った事業として、課題を的確に把握し、目的の明確化が図られていること、事業内容に出前講座を組み入れるなど、新しい視点が入っていることが評価できる。</p> <p>2次審査に向けては、次のことを整理していただきたい。</p> <p>○団体発足の原点である情報誌「ながさきダンカーズ」と今回作成するハンドブックの違いを明確にするとともに、団体のミッションと本事業との関連性を示していただきたい。</p> <p>○協働の役割分担については、行政側の役割をさらに引き出す必要があると思われるため、担当課と十分に協議を行い、両者がともに汗を流すような分担を示していただきたい。</p> <p>○事業の成果を見る化することが難しい分野ではあるが、対象者がどういった姿になっていることを目指すのかを明確にし、事業の達成度を測るためにも提案者なりの成果指標を示していただきたい。</p>	<p>事業目的、課題の把握を明確にしたうえで、事業内容がよく組み立てられており、実施能力も十分であると評価できる。</p> <p>2次審査に向けては、次のことを整理していただきたい。</p> <p>○協働の役割分担については、プレゼンテーションでは明確に示されていると感じたが、提案書では不明確な部分があるため、担当課と十分に協議のうえ、提案書にしっかりと落とし込んでいただきたい。</p> <p>○事業内容については、ノルディックウォーク教室の各回の具体的なプログラムを示していただきたい。</p> <p>○ノルディックウォークをツールとして、対象者をどのような状態に導きたいのか、目指す姿を示していただきたい。</p>	<p>ひきこもり者への支援については、社会問題として広く認知されてきたことから、社会的ニーズが高まってきており、課題の把握、協働の必要性については共感できた。</p> <p>しかしながら、企画の内容については、ハンドブックの内容や出前講座のプログラムなどの具体性に欠けていたため、事業のイメージが伝わってこなかった。</p> <p>また、ニーズがあることは理解できるが、裏付けとなるようなデータがなかったため説得力に欠けていた。</p> <p>さらに、対象としている民生委員等がひきこもり者に対する問題意識をどの程度感じているのか等が不明確であり、現状認識が不十分であると感じられた。</p> <p>以上の理由から、事業の実現可能性に疑問が残るため、今回は不採択とした。</p> <p>今後は、団体がこれまで当事者から受けた相談実績の内容などを分析するとともに、リサーチ力や企画力を向上させることに注力することで、団体の強みを活かした事業を展開されることを期待したい。</p>	<p>発達障がいの子どもの学習支援については、当事者の進学・就労など将来に繋がっていく支援として社会的ニーズがあると思われることから、課題の把握、協働の必要性については共感できた。</p> <p>しかしながら、プレゼンテーションにおいては、発達障がいに関する説明が多く、具体的な事業内容が伝わってこなかった。</p> <p>また、事業の運営については、その大部分を学生が担っているため危うさが見受けられること、学生の卒業に伴いスタッフが入れ替わるため経験・実績が団体に蓄積されにくいのではないかと感じられた。</p> <p>以上の理由から、事業の実現可能性や継続性に不安が残るため、今回は不採択とした。</p> <p>今後、団体の活動を安定して続けていくためにも、組織基盤の整備に本格的に取り組むことを期待したい。</p>	